

ドイツ敗北必至なり

三国同盟とハンガリー公使大久保利隆

高川邦子 著 A5判ソフトカバー296頁 本体 2,700円 ISBN978-4-8295-0871-8

ハンガリーから正確な独ソ戦況を伝え
ドイツ降伏時期を予測した外交官がいた！

米国と英国の公文書館に残る外交電、ハンガリーの新聞・雑誌などの史料、
当事者の日記・回想録などを駆使したリアルな情景描写は圧巻。

大久保利隆ハンガリー公使は……

- ❖ヒトラーに心酔していた大島浩駐独大使に異を唱え、ハンガリーからドイツ不利を打電し続けた。
- ❖「親独的ではない日本人外交官」としてナチス・ドイツの不满を買い、「英米の宣伝に乗せられている公使」として東條首相の不興を買い、「日本の対ソ参戦」というヒトラーの要望をつぶして大島大使の怒りを買い、降格される。
- ❖決死の覚悟でソ連経由で帰国。帰国後は「ドイツ敗北必至・早期終戦準備」を説いてまわり、天皇にも直接伝える機会を得た。だが、その声は届かなかった。
- ❖戦況悪化による中立国外交団の軽井沢疎開にともない、外務省軽井沢事務所長を務め、外交団と折衝した。

高川邦子 (たかがわくにこ)
1961年東京都生まれ。日本郵船(株)勤務の後、1991年よりNHKを中心に翻訳に携わる。2001年慶應義塾大学法学部政治学科を卒業。大久保利隆の孫。著書に『アウトサイダーたちの太平洋戦争』がある。

祖父が体験し、
父が語り継ぎ、
孫の著者が書きまとめた
「三世代にわたるリレー」



大久保利隆
(1895-1988)

鹿児島出身の外交官。
日独伊三国同盟の条約案起草に関わる。1941年ハンガリー駐節特命全権公使。帰国後外務省軽井沢事務所長。戦後アルゼンチン大使。



1942年4月、三国同盟強化のためハンガリーを訪れた大島大使(中央)。左隣大久保

第1章 三国同盟成立
 第2章 「否、否、絶対に！」
 —ハンガリーと「トリアノン条約」
 第3章 「ヒトラーのあやつり人形」 —1941年
 第4章 ベルリンの在欧大公使会議 —1942年
 第5章 三国同盟の崩壊 —1943年
 第6章 御進講と外務省軽井沢事務所
 —1944~45年8月15日
 終章 戦後の復興とともに
 附録 大久保利隆著作
 『回想—欧州の一角から見た第二次世界大戦と日本の外交』
 『総理大臣秘書官時代の岡田啓介総理の思い出』
 『終戦時に於けるドイツと日本』

※本書は『ハンガリー公使大久保利隆が見た三国同盟—ある外交官の戦時秘話』(2015年刊)に、その後新たに入手した史料、写真、証言等を加えて全面的に書き改めたもの。大久保の回想録全文を付録として収録。

12月中旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 11月21日(火) です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版

〒113-0033
東京都文京区本郷3-3-13
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL. 03-3813-4466
FAX. 03-3813-4615

発行 芙蓉書房出版	注文数	注文者
ドイツ敗北必至なり		
12月新刊 本体 2,700円	部	